

三方五湖学習

三方五湖子どもラムサールクラブ、 三方小学校活動発表（全体会に参加）

三方五湖子どもラムサールクラブのメンバーと三方小学校の代表児童が、3月14日に開催された三方五湖自然再生協議会の全体会に参加し、今年度の活動について発表しました。

三方五湖子どもラムサールクラブは、今年度は18名のメンバーで、美浜町、若狭町内の川や湖、水田などで7回の活動をおこないました。

三方小学校は、「ゆりかご田から三方五湖の生きものにぎわいを取り戻そう」と題し、2年間取り組んできたゆりかご田でのフナ・コイを育てる活動などを動画で紹介しました。



三方五湖子どもラムサールクラブによる発表



三方小学校による発表（動画による活動紹介）

三方五湖 ニュースレター



No. 24

令和3年3月25日発行



三方五湖自然再生協議会 令和2年度全体会

自然再生関連会議等開催情報

- ◆三方五湖自然再生協議会令和2年度全体会
 - ・令和3年3月14日
- ◆自然護岸再生部会
 - ・令和2年12月21日…部会会議
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・令和3年2月8日…部会会議
- ◆外来生物等対策部会
 - ・令和3年3月3日…部会会議
- ◆環境に優しい農法部会
 - ・令和3年2月17日…部会会議、勉強会
- ◆環境教育部会
 - ・令和3年2月24日…部会会議、研修会

最新情報は
↓こちらから



三方五湖の自然とめぐみTOPICS

クリアファイルを作成しました!



三方湖周辺を中心に、漁業者・農業者、地域の団体、小学校等により、田んぼでフナ・コイを育てる取組が進められています。

湖と田んぼのつながり再生部会では、フナ・コイの稚魚育成水田普及の取組を紹介するクリアファイルを作成しました。

問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷第25号25番地
TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

三方五湖のなかまたち

モクズガニ（イワガニ科）

・全国の川の上流から汽水域、内湾域に生息。カワナなどの貝類、小魚、水生昆虫、両生類などを食べる。体は緑がかった暗い褐色をしている。



- ・体長：6～20cm
- ・はさみにふさふさした毛があるのが特徴で、英名で、“Japanese Mitten crab”（手袋ガニ）と呼ばれている。

このニュースレターは「令和2年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

目次

三方五湖自然再生協議会令和2年度全体会開催	1
シジミのなぎさ再生事業	2
三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち	3

三方五湖自然再生協議会 令和2年度全体会開催

令和2年3月14日(日)に、美浜町はあとびあにおいて令和2年度三方五湖自然再生協議会全体会が開催され、関係者70名が会議に出席しました。

今回の全体会では、今年度の自然再生事業の進捗状況や成果について報告がありました。会議に先立ち、環境教育部会から三方五湖子どもラムサールクラブの子供たちによる発表、三方小学校児童による発表がありました。また、外来生物等対策部会では若狭高校の高校生によるアカミミガメに関する研究発表もありました。



全体会の様子

[全体会次第]

1. 開会 あいさつ 会長 鷺谷いづみ (東京大学名誉教授)
2. 来賓 あいさつ 環境省中部地方環境事務所国立公園課
3. 内容
 - (1) 子どもたちの活動報告
 - ・三方五湖子どもラムサールクラブ 活動発表
 - ・三方小学校 VTRによる活動発表
 - (2) 令和元～2年度活動報告および令和3年度活動計画
 - ・自然護岸再生部会
 - ・湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・外来生物等対策部会 (外来種対策、ヒシ対策) アカミミガメ調査結果報告 (福井県立大学)
 - ・環境に優しい農法部会
 - ・環境教育部会
 - ・シジミのなぎさ部会
 - ・三方五湖自然再生協議会 (全体)
 - (3) 三方五湖自然再生事業実施計画(第2期)について
4. その他
5. 閉会 あいさつ 副会長 吉田丈人 (総合地球環境学研究所・東京大学准教授) 副会長 青海忠久 (福井県立大学名誉教授)

* 鷺谷会長、吉田副会長、環境省中部地方環境事務所国立公園課は、リモートでの出席

三方五湖自然再生事業実施計画 第2期計画に向けての展望

三方五湖自然再生協議会では、三方五湖自然再生事業実施計画について、三方五湖自然再生全体構想の目標と照らし合わせた評価や事業計画の見直しを進め、第2期計画を令和3年度に策定予定です。令和2年度全体会において、各部会からこれまでの成果、課題、目標についての紹介がありました。

◆令和3年度スケジュール

- ・5～6月 全体会 (第1回) 第2期計画案の協議
- ・9～10月 全体会 (第2回) 第2期計画案の承認
- ・国の専門家会議
- ・令和4年3月 全体会 (第3回) 第2期計画の公表

◆第2期計画に向けた各事業の目標

◇湖岸等の自然再生事業

- ・自然護岸を推進し、災害への防御機能の向上と生物多様性の保全、再生を実現

◇湖と田んぼのつながり再生

- ・稚魚育成マニュアルを検証し、より大きく育てる技術の開発
- ・参加農家のインセンティブ確保と放流稚魚の生存率等の動向把握
- ・新たな在来魚種の水田養魚の導入を検討

◇侵略的外来生物への対策

- ・生息個体数の傾向を把握
- ・捕獲エリアの設定

◇三方湖におけるヒシへの対策

- ・ヒシの適切な管理方法の確立
- ・ヒシの適正な繁茂状態の維持

◇環境に優しい農法の取組

- ・認証制度の取組み水田面積の拡大
- ・新たな認証制度の取組み水田面積の拡大

◇三方五湖を活用した環境教育

- ・SDGsの担い手となる人材育成の推進
- ・子どもラムサールクラブ受講者数の増加

◇シジミのなぎさ再生

- ・なぎさ再生事業の簡易化 (他府県の見本になるレベル)
- ・水月湖・菅湖・久々子湖での再生なぎさの拡大
- ・シジミ漁の再産業化



しじみのなぎさ再生事業

◆水月湖

今年度、三方五湖自然護岸再生実証試験として、水月湖南西岸(若狭町海山)において、浅場の造成(1,000㎡)を実施しました。

浅場の造成は、ヤマトシジミをはじめとした生物多様な生息環境を水月湖に創出することを目的とし、水月湖畔に土砂(828㎡)を導入しました。土砂の導入にあたっては、「久々子湖、水月湖、菅湖、三方湖及びはす川の自然護岸再生の手引き書」(三方五湖自然再生協議会自然護岸再生部会、令和元年10月)に沿い、はす川中流域の浚渫に伴い発生した土砂を用いました。



水月湖における浅場の造成位置



写真:福井県里山里海湖研究所 宮本研究員



写真:自然再生護岸部会



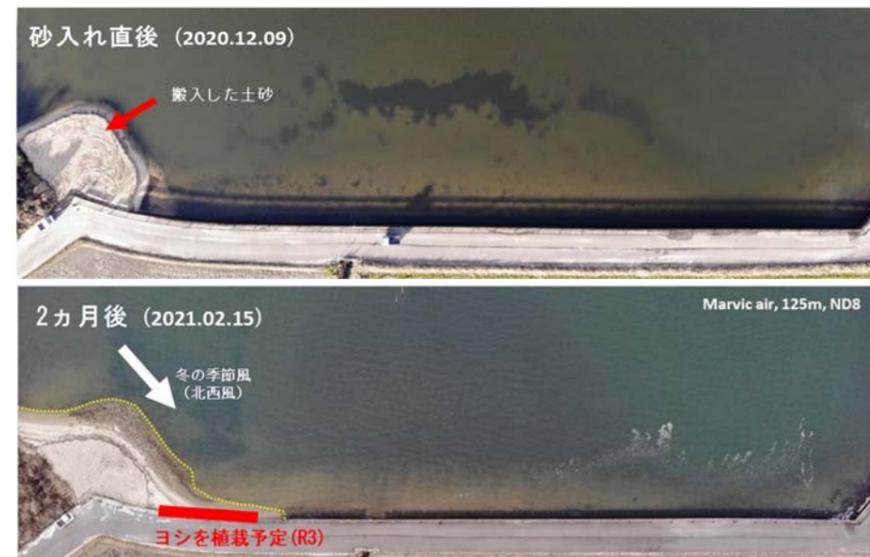
◆久々子湖

今年度、久々子湖では、流入河川中流域(金山付近)の浚渫土砂(530㎡)を搬入しました。導入した土砂は、整地せずに、自然の力(冬の季節風)でなぎさを拡大することで計画しています。

久々子湖では、平成26年度からの取組により、久々子湖における浅場造成(しじみの生息環境整備)面積が、久々子湖面積の10%(12.5ha)になりました。

【久々子湖における浅場造成の経緯】

- ・H25 5,000㎡(0.5ha)総合体育館前
- ・H26 2,500㎡(0.25ha)美方高校艇庫前
- ・H28・29・30 生息適地調査、今後の取組検討
- ・R1 10,000㎡(1.0ha)宇波西川河口付近
- ・R2 530㎡(土砂搬入)南岸東部



久々子湖における浅場の造成位置

写真、データとりまとめ等:福井県里山里海湖研究所 宮本研究員(科研費、総合地球環境学プロジェクト研究費活用)